

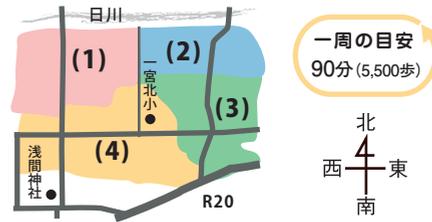
地域再発見 ウォーキングマップ

— 地域の日常にあるキラリと光るお宝を地域資源として活かしていくためのウォーキングマップです —

笛吹市一宮北地区

(4) 中尾

(1)上矢作、(2)北野呂、(3)南野呂地区のマップもあります。



なか お 中尾

中尾は、中尾神社を中心に形成された地区で、中尾神社の周辺や浅間神社の裏参道(御幸通り)を中心に、集落が広がっています。



①獅子石

ブドウ畑の中にポツンと置かれた大きな石。獅子(ライオン)がうずくまっているように見えませんか? 昔、京戸山が豪雨のため崩壊して土石流がおきた時、この獅子石が吼えて水の流れを変え、集落を守ったという伝説があります。



②神撰田の石碑

神撰田とは、神様に供える稲を作る田んぼのことです。この石碑は、かつて中尾神社の神饌田が、田草川の堤防沿いにあったことを物語っています。今では埋め立てられ、畑になっています。



③中尾神社

中尾神社は、平安時代に編纂された『延喜式(えんぎしき)』という書物に登場する古い神社です。拝殿に彫られた唐獅子の彫刻が印象的です。1月の道祖神祭りは、以前にはダルマや縁起物売る露店も多く並ぶ賑やかな祭りでした。



④田村四将軍の碑

代々中尾神社の神官を勤める田村家からは、明治から昭和にかけて3人の陸軍中将と1人の少将を輩出しました。とりわけ田村怡与蔵(いよぞう)は、日清戦争後に参謀次長となり、悪化する日露関係を背景に陸軍の整備を進めました。



⑤秘密基地? パイプ畑?

この葡萄のハウスでは、地中から潜望鏡のようなパイプが立ち並び不思議な光景が見られます。20数年前からハウス内の温度を調整するため、地熱を利用しているのだそうです。エコですねえ。



⑥定林山宝樹院

大きな門の横にかわいくたたずむ六地藏が迎えてくれます。境内には水子の地藏や馬頭観世音があります。庫裏(くり)の入り口に額が飾ってあるのですが、「無」と書いてありますが、とても難しく読めませんでした。5月には蓮の花が見られる池も見所です。



⑦御門と松

この門は、左右にはくぐりがある立派な門で、築140年以上の歴史があり、明治初期には既に建てられていたそうです。門の横には大きな松があり、松の木の支柱で支えられ、まるで「人」の字のようです。



⑧金毘羅さんと穂葉さんの社

金毘羅信仰は、「こんぴらさん」で知られる四国の金刀比羅宮(ことひらぐう)が総本宮です。海上交通の守り神とされ、水をつかさどるため農業神としても信仰されています。穂葉(秋葉)信仰は、鎮火を意味する火伏(ひぶせ)から、防火を意味する火防(ひぶせ)の神となりました。



⑨石尊さんと石橋

鯉が泳ぐ池の中の石が石尊さんです。神奈川県の大山阿夫利(おおやまあぶり)神社を中心とする山岳信仰で、農耕の神、雨乞いの神です。池にかかる石橋は、一枚の石からできていますので注目です。



⑩喫茶キヴィス (KIVIS)

コンクリート造りの民家を改装した店内は、古くて懐かしい香りがします。足踏みミシンのテーブルで、上質な珈琲にワイン、自家製のパンと軽食が、憩いの時間を提供してくれます。開店は11時30分、交差点に面した軒下ランプの点灯が合図です。